



TKK 共通シラバス

1. 科目名	社会防災特別講義Ⅱ		
2. 教員名	吉椿雅道、斉藤容子、頼政良太	3. 担当大学	神戸学院大学
4. 対象学年	2年	5. 開講時期	後期
		6. 単位数	2単位

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）

近年、世界では、気候変動の影響もあり、台風や豪雨は大規模かつ激化しています。また感染症によるパンデミックや戦争・紛争も起きています。このような状態は今後、常態化すると考えられ、その対応が求められています。世界の災害などの人道支援は、国連や政府の公的な支援だけでは不十分で、市民を代表する民間の NGO などによる支援が不可欠なのは言うまでもありません。本科目では、阪神・淡路大震災を機に発足された NGO である CODE 海外災害援助市民センターの復興支援活動の中で培われてきた経験や知恵をもとに被災者支援や市民社会における NGO の役割、災害支援を通じた社会変革など実践事例を通じて学びます。また、本科目は、災害多発の時代を生きていく若者自身が、社会の中で自らの役割を考え、ボランティアや社会貢献について考える機会にもなります。

この授業を通して、災害や防災の専門知識や技能を身につけ、国内外の災害を通して海外の文化や習慣、価値観を共有し、これからの社会貢献を学ぶことは本学の DP に適ったものです。

なお、本科目の講義内容は、1995 年の阪神・淡路大震災以降、28 年間、国内外の災害現場でボランティア活動や復興支援に従事し、豊富な実務経験を有した教員と被災地での実務経験の豊富な講師陣の実践を元に構成しています。

8. 授業のキーワード（神）

災害支援、国際協力、NGO、最後のひとりまで、SDGs

9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）

講義形式を基本に授業を進めますが、随時質問を学生に投げかけていきます。また、またオムニバス形式で各回スピーカーを迎え、ワークショップでグループディスカッションなども行います。「対面授業および遠隔授業併用」

10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）

「災害から一人ひとりを守る」吉椿雅道、他共著（2019 神戸大学出版）

「暮らしのアナーキズム」松村圭一郎（2021 ミシマ社）

「グローバル支援の人類学」信田敏宏、白川千尋（2017 昭和堂）

11. 事前、事後に受講してほしい講義等（東）

CODE の HP や FB を通じてその活動を積極的に学んでください。また災害ボランティアなどにも参加してください。

その他、CODE に関連する書籍「KOBE 発災害救援」（神戸新聞総合出版センター）や「ボランティアが社会を変える」（関西看護出版社）「災害から一人ひとりを守る」（神戸大学出版社）などを読むことを進めます。

12. 提出課題など（神）
また各回のコメントカードなどを提出してもらいます。なお、コメントカードに対するフィードバックなどは次の回の冒頭で行います。また、不定期にレポートを書いてもらいます。
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法（東）
各回のコメントカード 70% レポートや質疑応答など 30% 以上を総合的に評価します。
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）
<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の私語は禁ずる。 ・原則、遅刻は認めない。 <p>尚、この科目は開講大学以外の学生が履修する場合、オンデマンドでの開講となります。受講の方法などは各大学のガイダンスや講義の中で説明いたしますので、必ず詳細を確認し、履修登録を行ってください。</p>
15. 参考（ホームページ（神）、オフィスアワー（工）等）
CODE 海外災害援助市民センターの HP: https://code-jp.org/

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	授業全体の講義内容の説明と講師紹介、そして学生の内容に関しての要望を聞き、講義に活かします。
第2回	CODE 海外災害援助市民センターについて	被災地 KOBE の NGO である CODE の基本的な理念や手法、活動について知ります。
第3回	異文化理解と援助	被災地の文化、習慣、宗教について知り、それと支援活動の関係を理解します。
第4回	日本の災害復興支援活動	日本における災害やその復興支援活動やネットワークなどについて学びます。
第5回	寄り添いとつながり	多様である被災者の「つぶやき」を聴くことを足湯ボランティアや海外の事例を通じて「寄り添い」を考えます。
第6回	海外の復興制度	海外の復興制度についてイタリアなどの事例をもとに学びます。
第7回	災害フィールドワーク	災害後の復興支援におけるフィールドワークの意味や手法について学びます。
第8回	災害と SDGs	SDGs（持続可能な開発目標）と災害の関係、災害における SDGs の意味について考えます。

第9回	災害とジェンダー	災害時に起きるジェンダーの問題について考えます。
第10回	平時の地域防災	今後の災害対策において重要になる地域防災について考えます。
第11回	災害と貧困	途上国の貧困の問題と災害の関連について学び、その解決を考えます。
第12回	援助の届き難い被災地支援の方策	CODEの理念である「最後のひとりまで」という考え方を事例を通して考えます。
第13回	海外のコミュニティ防災	ネパールやバングラデシュの事例を通して海外のコミュニティの防災を学びます。
第14回	若者と国際協力	若者が被災地に関わる意味や国際協力における若者の意義について考えます。
第15回	まとめ	授業全体を振り返り、まとめを行います。

【コンピテンシー】 ※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

(下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。期待度が高いほうが5、低いほうが1です。)

コンピテンシー	ポイント
マインド的コンピテンシー	5
成果を挙げるためのコアコンピテンシー	3
受容的コンピテンシー	3
応用的コンピテンシー	3
対人・集团的コンピテンシー	4

コメント